

平成28年度 鴨川市立図書館協議会次第

日 時 平成28年6月3日（金）
午後3時から
場 所 鴨川市立図書館 集会室

1. 開 会
2. 委嘱状交付
3. 教育長あいさつ
4. 会長、副会長の選出について
5. 会長あいさつ
6. 議 題 （1）平成27年度図書館事業報告について
 （2）平成28年度図書館事業計画について
7. その他
8. 閉 会

◎平成２７年度図書館事業報告について

- ・平成２７年度 図書館事業報告・・・・・・・・・・資料１
- ・平成２７年度 年齢別利用状況報告・・・・・・・・・・資料２

◎平成２８年度図書館事業計画について

- ・平成２８年度 図書館運営全体計画・・・・・・・・・・資料３
- ・平成２８年度 運営方針・実施概要・・・・・・・・・・資料４
- ・平成２８年度 鴨川市立図書館年間行事予定・・・・・・・・・・資料５

◎その他添付資料

- ・新着図書案内５月号（公民館用）
- ・中高生の皆さんへ 新着案内５月号（中学・高校掲示用）
- ・おひざにだっこのおはなし会チラシ
- ・おはなしひろばチラシ

1.乳幼児対象の事業**(1) おひざにだっこのおはなし会**

△対象 0歳から3歳くらいまでの乳幼児

△開催 毎月1回 第2木曜日を原則とする

△実施者 文化施設ボランティア（登録者 11 名）

△実施内容 絵本の読み聞かせ、パネルシアター、エプロンシアター、紙芝居、手遊びなど

△実施状況 *8月は「こどもフェスタ」として「おはなしひろば」と合同開催

回	実施日	参加者数	備考	回	実施日	参加者数	備考
1	4/9	48		7	10/8	36	
2	5/14	46		8	11/12	39	
3	6/11	48		9	12/10	47	
4	7/9	46		10	1/14	58	
5	8/1		こどもフェスタ	11	2/4	49	
6	9/10	22		12	3/10	41	
				合計		480	

▲出前おひざにだっこのおはなし会＝関係機関からの要請で読み聞かせを実施＝

(2) ブックスタート「赤ちゃんに絵本の贈り物」事業

△対象 平成26年4月1日から平成27年3月31日に誕生した乳児

△方法 福祉課、健康推進課実施事業の「新生児訪問」「こんにちは赤ちゃん事業」にて個別に趣旨の説明、図書館にて絵本1冊と絵本バックの贈呈、図書貸出券の発行

2.幼・小・中学生対象事業**(1) おはなしひろば**

△対象 幼稚園児から小学校低学年

△開催 毎月1回 第4土曜日を原則とする

△実施者 文化施設ボランティア（登録 16名）

△実施内容 絵本の読み聞かせ、紙芝居、大型絵本、手遊び、わらべ歌、簡単な工作など

△実施状況 *8月は「こどもフェスタ」として「おひざ」と合同開催

回	実施日	参加者数	備考	回	実施日	参加者数	備考
1	4/25	32		7	10/24	21	
2	5/23	11		8	11/28	15	
3	6/20	14		9	12/19	18	
4	7/25	24		10	1/23	36	
5	8/1		こどもフェスタ	11	2/20	27	
6	9/26	16		12	3/26	15	
				合計		229	

▲出前おはなしひろば＝関係機関からの要請で読み聞かせを実施

回	実施日	学校	学年	協力ボランティア
1	5～2月 月1回	長狭こども園	3才～幼稚園児	4名
2	8/4（木）	田原・西条学童クラブ	1～3年生	3名
3	9/19（土）	鴨川市教育委員会	乳幼児～小学校低学年	4名
4	12/23（水）	鴨川市教育委員会	1～6年生	3名



(2) 夏休み子どもフェスタ

8月1日(土) 開催 9:20~11:45

イベント	内容	参加者数
おはなしいっぱい	パネルシアターや紙芝居の読み聞かせ	94
水族館のおはなしがいっぱい	水の生き物の絵本の読み聞かせ	73
図書館探検クイズ	クイズ形式での図書館探検	115
工作コーナー	アクアリウム、うちわ等の作成	131
腹話術でのおはなし	松苗禮子さんによる腹話術	113

(3) 鴨川市立図書館子ども司書講座

△対象 小学4年生から小学6年生

△参加 8名=小4年5名、小5年1名、小6年2名

(鴨川小4名、東条小2名、田原小1名、西条小1名)

△開催日・時間等 全日程日曜日、午前10時から午後3時

△全講座を修了した児童に「鴨川市立図書館子ども司書」の認定書を授与

回	開催日	内容	備考
1	5/10	図書館ってどんなところ?カウンターの仕事など	
2	6/7	司書の仕事、本の分類について、読み聞かせの練習など	
3	6/21	花壇の手入れ、本の製本について、書架の表示作りなど	
4	10/18	分類を使って本の探し方練習、手作り絵本体験など	
5	10/25	おすすめ図書コーナーの設置、購入本の選書、認定式など	

(4) 図書館仕事体験・図書館見学等

随時要請に応じて受け入れ

回	開催日	学校名	参加者数	備考
1	6/5(金)	小湊小学校	2年生 14名	見学体験・学習
2	6/12(金)	江見小学校	2年生 29名	見学体験・学習
3	6/17(水)	東条小学校	2年生 74名	見学体験・学習
4	6/19(金)	田原小学校	2年生 17名	見学体験・学習
5	6/23(火)	長狭小学校	1・2年生 62名	見学体験・学習
6	6/30(火)	天津小学校	2年生 23名	見学体験・学習
7	7/4(土)	西条土曜スクール	23名	見学体験・学習
8	7/11(土)	天津小湊土曜スクール	21名	見学体験・学習
9	8/5(水)~8(金)	中学2年職場体験学習	鴨中3名、長狭中1名	職業体験
10	9/30(水)	鴨川小学校	2年生 53名	見学体験・学習
11	11/20(金)	東条小学校	5年生 4名	職業体験

(5) 中学校朝読書用図書配本事業

△対象 市内3中学校

△実施 学期ごとに配本

△内容 図書館より推薦する図書を3中学校各クラスに配本。1コンテナに40冊ずつ配本し、読書の質の向上を目指す。

3.一般成人対象

(1) お話を楽しむ会＝大人向け朗読会＝

- △対象 一般成人（朗読内容によって中学生、高校生も対象になる）
 △開催日 年2～3回程度（練習は毎月第2火曜日に実施）
 △実施者 文化施設ボランティア（登録 11名）、図書館職員2名
 △実施内容 名作や「ふるさと鴨川」の朗読や講話など



回	開催日	内容	参加者
1	5/12（火）	芥川龍之介作「藪の中」の朗読	5名
2	9/29（火）	戦争のおはなし	32名
3	2/9（火）	高峰秀子作品集	19名

▲出張お話を楽しむ会 *福祉施設等団体からの要請により実施

(2) 文化講演会・講座

回	開催日	行事名	講師	参加人数
1	11/15（日）	源氏物語講座	東洋大学名誉教授 神作光一氏	43名

(3) その他、実施事業

回	開催日	事業名称	内容	参加人数
1	8/8（土）	こどもの本のリサイクル市	児童書の寄贈本等は無償提供	138名
2	12/6（日）	本のリサイクル市	寄贈本等は無償提供	240名
3	1/17（日）	ボランティアスキルアップ研修	読み聞かせボランティア研修	13名
4	1/26（火）	学校図書館担当者連絡会議	市立図書館と学校図書館との連携	
5	2/22（月） ～3/2（水）	蔵書点検による休館	所蔵図書の点検作業	

4.その他連携事業

図書館公民館分室の開設

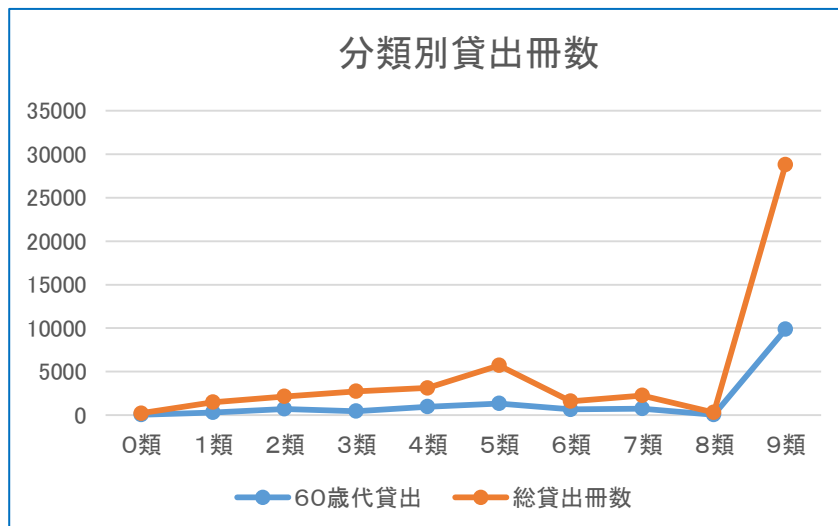
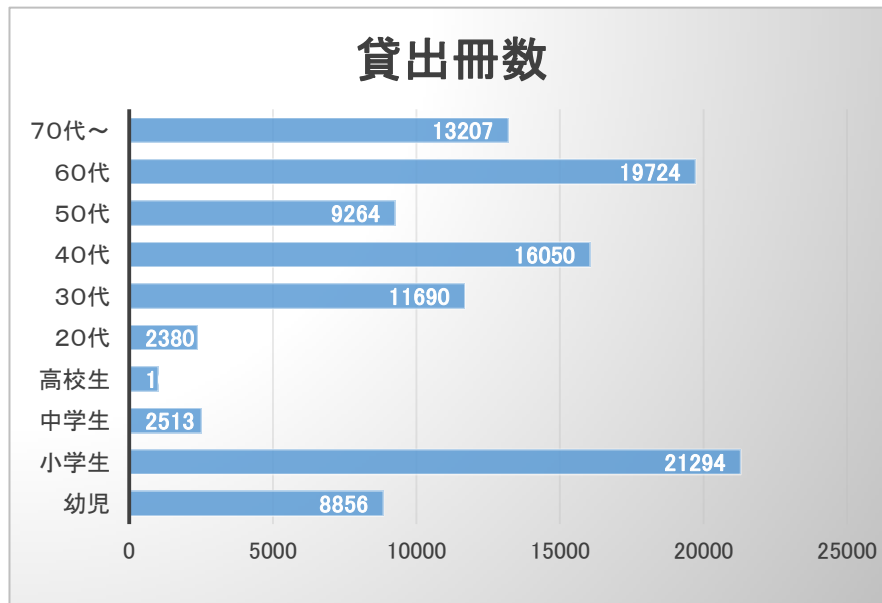
遠隔地域の住民サービスとして、公民館へ図書館の分室を開設。各公民館用の貸出カードを作成し、利用している。

公民館名	開設等	蔵書冊数	登録人数
曾呂公民館分室	平成23年9月試行 平成24年開設	約800冊	86名
大山公民館分室	平成23年12月試行 平成24年開設	約2500冊	124名
江見公民館分室	平成24年7月開設	約800冊	78名
天津小湊公民館分室	平成25年7月開設	約4300冊	144名

平成27年度 年齢別利用状況 資料2

◎赤ちゃんから高齢の方まで、多くの皆さんに豊かな読書環境を提供していける図書館

◎また行ってみたい、もっと本を借りたいと多くの皆さんに親しまれ利用される図書館



【一般書の貸出について】

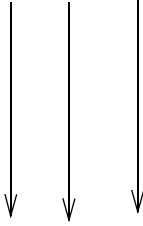
分類別の貸出状況を見ると9類の文学に続き、5類（建築、機械、電気、料理、手芸等の分野）の趣味的な資料の利用が多い。次に4類（数学、動物、医学、薬学等の分野）が多く、健康についての資料の貸出が多くなっている。7類（絵画、書道、スポーツ等の分野）の利用が多く、生活に豊かさを求めた年齢層の利用が見えてくる。

平成28年度 図書館運営全体計画

資料3

鴨川市立図書館

『生涯読書人』“赤ちゃんからご高齢の方まで、みんなに親しまれ利用される図書館づくり！”

年 齢 層	年齢層に対応した図書館運営	行事等（ボ＝ボランティア活動）
成人 60代～ 	読書の喜びを通して豊かな時間を！ 【取組の重点】 ○ 名作、趣味本、歴史本等、人生や生活を豊かにする本の充実 ○ 「ふるさと文庫」と郷土資料室の蔵書の充実	 新着本紹介コーナーの充実とテーマ別図書展示による図書の紹介 本のリサイクル市
成人 20代～ 50代 	ニーズに応え、最新情報の提供を！ 【取組の重点】 ○ 情報の収集と新刊本の積極的購入 ・ 地域の特性や市民のニーズの多い本の購入 ・ 「ふるさと文庫」と郷土資料室の充実 ○ 展示コーナーの工夫 ・ タイムリーなテーマ設定や幅広い本の紹介 ○ リクエスト本への対応やレファレンスの充実 ・ 他館との相互連携と職員の研修の充実	源氏物語講座 朗読会・講話会等（ボ） 
中高生 	豊かな心をはぐくむ読書環境を！ 【取組の重点】 ○ 中高生向け図書、文庫本、新書本コーナーの充実による本の質の向上 ○ 学校との連携と公民館分室利用による図書の提供	中学校配本事業（全クラス） 職場（仕事）体験、図書館見学
小学生 	図書館のしぐみを伝え、自ら本を探す喜びを！ 【取組の重点】 ○ 分類に基づく書架への興味・関心 ○ 子ども図書館司書講座等、行事参加者の増 ○ 「読みたい本」を自分で探す体験 ○ 学校との連携と図書館便りの発行による図書館理解 ○ 文化施設ボランティアとの関わり	子どもの本のリサイクル市 子ども司書認定講座 としょかんこどもフェスタ（ボ） 
乳幼児 	生涯読書のスタートに向け、親子で読書の喜びを！ 【取組の重点】 ○ 乳幼児への読み聞かせ活動の充実（ブックスタート事業との連動） ○ 幼児用絵本の展示と紹介の工夫	おはなしひろば（ボ） おひざにだっこのおはなし会（ボ） 

赤ちゃんから高齢の方まで、みんなに親しまれ利用される図書館づくり

『鴨川市第3次5か年計画』（H28～H32）第4章「ともに学び未来を育む教育文化のまち」第2節「生涯学習の充実」に基づき、市民の多様な学習や調査研究の利便に供し、生涯学習社会の進展、高度情報化に伴う変化に対応した図書館サービスの提供に努める。

- 生涯学習課、県立中央図書館との適切な連絡調整及び指導からの向上
- 他の文化施設との連携による活動の拡大
- 学校との連携強化による子どもの読書量及び質の向上
- 文化施設ボランティア（図書館ボランティア）の協力・支援による多様な行事の実施と利用者の拡大
- ◎他県、他市の特色ある図書館運営や社会的動向の情報を収集しながら、今後の図書館の在り方の展望を図る。

《 運営の具体的方針と実施概要と課題 ※印が課題 》

1 また来たくなる図書館づくりをめざして =館内全体=

① 館内の図書資料の充実

○図書予算の増、交付金事業等で図書資料の購入数が増え、利用増につながった。特に、偏りのあった分類別冊数や、古い情報掲載の本の買い替え、話題の新刊本の購入、教科書掲載本の購入、中学校朝読書用図書の購入、分室用図書の購入等、幅広いニーズに応える図書資料の購入が可能になってきた。引き続き、リクエストや利用者のニーズに応えられるよう選書していく。

○選書会議を月一回実施しているが、職員の選書能力をさらに高めるとともに、蔵書の状況を考えながらバランスよく図書資料の充実を図っていく。

※幅広いニーズに応える図書資料の購入は必要不可欠である。バランスよい選書に配慮していく必要がある。

② 資料の適切な管理

○書架の移動、新書版専用書架や文庫本専用書架、絵本棚の設置などで館内資料の配置は大分まとまり、閲覧しやすくなってきた。文庫本の棚の増設、子ども部屋の外国の絵本が閲覧しやすいよう改善していく。

○本の修理やブックカバーのかけ直し等の作業をこまめに行ったため、きれいな本が書架に並ぶようになった。継続して取り組んでいく。

○子ども部屋の書架表示を新設・改善したことで、本の位置がわかりやすくなった。館内全体、書架表示の工夫に努めていく。

※玄関右側のスペースを活かしたい。大活字本コーナーや文庫本コーナーの増設等が考えられる。

③ 利用者サービスの向上

○相互貸借事業の効果的な運用で、本館にない資料も利用者に提供できた。継続して取り組みたい。

○利用者の多様なレファレンスに応じていけるよう、職員のレファレンス能力の向上が求められる。

毎月、職員全体による「レファレンス研修」を実施し、本館での事例や他の資料をもとに、対応について学んでいく。

○延滞者は、「督促基準」に基づき、電話や手紙等で督促をしたが、電話が不通であったり、手紙が返送されたりで数年間延滞の利用者もいるのが現状である。今後も粘り強く督促していく。

※本年度は、主に当館での事例を話題として対応について共通理解を図っている。今後は更に幅広く、他館等の事例も対象にして研修を進めていきたい。

2 図書館利用の拡大につながるボランティア活動、行事・新規事業をめざして

□ボランティア活動

○生涯学習課管轄「図書館文化施設ボランティア」を立ち上げて6年が経過した。39名のボランティアが五つの活動内容に分かれて活動している。（おひざにだっこのおはなし会ボランティア、おはなしひろばボランティア、お話を楽しむ会ボランティア、環境ボランティア、行事ボランティア）そこでは、

○図書館の活動方針を前向きに受け止め、非常に意欲的、前向きに活動している。

○ボランティア同士の人間関係もよく、互いの友好を深め合っている。

○多様な活動内容の工夫が図書館の活性化をもたらし、利用率向上にもつながっている。

という様子が見られる。継続していく。

○乳幼児対象の「おひざにだっこのおはなし会」は50名前後の参加者があり、若い母親にとって子育てについての情報交換の場にもなっている。継続していく。

○図書館こどもフェスタは小学生に、図書館への理解と親しみをもってもらう催しである。中・高学年向けの催しの必要性を感じているところであり、充実したものにしていく。

○幼稚園・小学校低学年対象の「おはなしひろば」への参加は多くない。これは、学校内での読み聞かせが定着してきたことと、子どもたちの土曜日の過ごし方が多様になってきたためと思われる。しかし、昨年度は呼びかけや内容の工夫により、参加人数が増えてきており、本年度は更なる工夫の継続をしていく（内容、構成）。

※「おはなしひろば」への参加者を多くするために、案内チラシを直接学校に出向いて配布したりしている。内容や構成は充実したものであるので、参加者が広がっていく方策を更に進めていく。

□平成28年度図書館単独の諸行事

〔 図書館主催講座 〕

※30年目が経過した同一講師（東洋大学名誉教授：神作光一氏）による「源氏物語講座」であるが、講師の高齢に伴い、今までの形では継続は難しくなった。今年度4月の「源氏物語講座」にて講座を終了した。

今後の講座については、人選及びテーマ・内容を検討中である。

〔 図書館子ども司書講座 〕

○当図書館の特色ある子ども向け行事であり、昨年度で6期生まで巣立った。認定後も図書館に来て、「おはなしひろば」での読み聞かせや「こどもフェスタ」のお手伝いなどで活動する姿もある。本人にとって活躍の場であり、図書館と学校との架け橋でもある。活動の場を設けるよう配意していく。

※講座で学んだことを活かす活動の場を更に考えていく必要がある。講座修了者と図書館の繋がりをもっと密なるものにしていきたい。

〔 本のリサイクル市 〕

○一昨年度から「子どもリサイクル市」（8月）と一般対象の「本のリサイクル市」（12月）に分けて実施してきた。混雑も少なくなり、準備等も効率よくできた。利用者からも好評であった。提供される本の冊数や内容によって、どんな配置にするか工夫していくことに配慮しながら、本年度も実施する。

※今年は他の行事の関係もあり、「子どもリサイクル市」と一般対象の「本のリサイクル市」を12月4日（日）同日に実施予定である。

※ボランティアさんの協力が大きい。冊数も増えているが、工夫して準備をして下さった。今後とも工夫した会場にしていくことが求められる。

□平成28年度 鴨川市立図書館新規事業

- 小学校図書配本事業の開始
- 「読書手帳」の配布
- 「本の福袋」実施

3 遠隔地の人にも図書館の楽しさを届けることをめざして

○地域別登録者、利用者の数値をみても遠隔地の利用は少なく、どう利便性を図っていくのかは課題であった。平成23年度より、これまで各地域にあった公民館図書を図書館所蔵の本として登録したり新たに購入したりで、4つの「鴨川市立図書館公民館分室」を開設し、貸し出し事業も実施している。

【曾呂公民館分室】 平成23年度開設

【大山公民館分室】 平成23年度開設 ※24年度に新大山公民館（旧大山小学校）に移設

【江見公民館分室】 平成24年度開設

【天津小湊公民館分室】 平成25年度開設

4館ともに、各公民館の館長、職員、臨時職員の協力により、貸出・返却業務を行っている。また、図書館からは週一回を基本に巡回を実施している。26年度からは、各公民館に本館の本も返却できるようにした。本年度もこれらを継続実施していく。

○今後、システムの導入により、分室でも本館と同じように貸出ができるような方向を考えていく。

○江見地区小学校が統合されたことによる公民館分室の利用状況について把握し、対策を考えていく。

※曾呂公民館分室、江見公民館分室とも利用数は減ってきている。学校統合の影響だと思われる。遠隔地対策として分室の継続は必要だと思うので、今後も利用状況の把握と対応について考えていく。

4 小・中・高生の読書内容の質の向上をめざして

○学校図書予算の不足、国語教科書における本の紹介や図書館利用教材の扱い、朝読書や読み聞かせの実施等、公立図書館と学校との連携強化がますます求められてきている。実態として、

○昨年度は、ほとんどの市内小学校（特に１・２年生）でカリキュラムに図書館訪問を入れてくれたこともあり、小学生の登録者や利用者が増加している。

○団体貸出券を使用して本を借り、校内（学級）に図書館の本を置いて読ませたり、授業で活用する教員が増えてきた。

○２５年度１０月より、市内３中学校の全学級に朝読書用図書配本事業を開始した。中学生が読む本の内容を充実させようとして始めた事業であるが、中学校から成果が上がっているという報告を受けている。配本事業については、クラス当たりの冊数を増やし、また、内容の充実に努めた。

本年度も学校との連携を大切にし、児童・生徒の読書環境の向上に努める。

○館内に、中・高生コーナーや教科書紹介本コーナーを特設している。更なる充実を図っていく。

○平成２３年度「生涯読書推進計画」を策定し、各学校にそれに基づいた実践をお願いしているところであるが、絶えず意識して読書活動を推進していく必要がある。学校との連絡会において確認しながら効果を上げていきたい。学校とのパイプを太くするため、インターネットでの図書予約も２月から始めた。学校との連絡を密にしながら、利便性を高めていきたい。

平成２８年度 鴨川市立図書館新規事業

●小学校図書配本事業の開始

２８年度１０月より、市内２小学校程度に配本事業及び本館職員による図書室整備のための支援を実施する予定である。次年度以降は対象校を拡げていく予定である。

●「読書手帳」の配布

対象 子ども～大人

○幅広い層の読書活動の質と量を高めていくために読書手帳を作成し５月１日より活用している。（読書手帳参照）活用を広げ深めるために広報での周知だけでなく、職員が小中学校を訪れ担当職員に趣旨を説明し協力・連携をお願いしている。

●「本の福袋」実施

対象 子ども～大人

○利用者の読書活動の幅を拡げ、更に意欲化を図るために１２月に「本の福袋」の配布を行う。「本の福袋」はジャンルごとに本を集め、貸出を行う事業である。

5 連携により、図書館活動の活性化と拡大をめざして

○図書館単独ではなかなか困難な事業も、他機関等との連携により実施が可能となる。また、他機関等の要請に応えることが、図書館利用に繋がると考える。必要に応じて連携したり、繋がりを大切にしたい態勢をとっていく。

（郷土資料館、ふれあいセンター、公民館、土曜スクール、学童保育、学校等）

※現在、郷土資料館（お話を楽しむ会）、社会福祉協議会（出前読み聞かせ）、公民館（日常的に）、土曜スクール（事業案内チラシの配布、図書館子どもフェスタへの参加）、学童保育（図書館見学体験、図書館行事の案内と参加）、学校（図書館見学・体験）と繋がった活動を行なった。今後も効果を上げるために、他機関との繋がりを大切にしていきたい。

6 安全・安心で気持ちよく利用できる図書館環境をめざして

○ふれあいルームの新設、トイレの洋式化、授乳室、障害者用トイレの設置等、利用者の利便性は少しずつ改善されてきている。今後も利用者の利便性や心地よさを考えた環境の保持・向上に努める。

○3・11の大震災以降、落下防止テープの使用、大きな額の撤去、玄関上のガラスに飛散防止フィルムの貼付など小さな対策はとられている。人が集まる場の安全・安心のため、非常時における職員の動きについて常に意識していく。

○築25年経っており、外壁や空調設備等、改修を要する箇所が多く出てきている。多額の予算を要するもの（空調設備等）についての年次計画を策定しての予算要求をしていく。

※空調設備については、設備の老朽化が限界にきており、半分ほどが稼働していない。

28年度に改修の具体的な計画を立て、29年度には工事にかかるようにしたい。

7 その他

○年々、多様な利用者が増え、要求もさまざまとなってきた。また、個人情報も多く抱えている機関でもある。非常勤職員も含めて職員の共通した対応と危機意識の向上は喫緊の課題である。既存の「利用者対応マニュアル」をもとに、学習会を開くなどして共通理解を図っていく。

○土・日、祝日開館に対応する勤務体制のため、全員が一同にじっくり「話し合う」機会は、月に一度の館内整理日（休館）だけである。“みんなで創り上げる”“職員としての資質・能力を高める”ためには、全員による共通理解の場、話し合いの場、学びの場が確保されなければならない。館内整理日には必ず、みんなが顔を合わせながら話し合う時間を持つようにしていく。日々の連絡、共通理解には、毎朝の打合せや連絡黒板にて対応していく。

○大人向けの企画として、人気作家のトークショーなど開催できるよう考えていく。

※雑誌のスポンサー制度については、他館の情報等を得ながら、検討し対応していくこととする。

平成28年度 鴨川市立図書館年間行事予定

資料5

	1日～10日	11日～20日	21日～31日	備 考
4 月	9/土・源氏物語講座 30周年記念講演	12/火・お話を楽しむ会打合せ 14/木・おひざにだっこ 14/木・中学校配本事業	23/土・おはなしひろば 28/木・館内（環ボラ）	図書館日より
5 月	10/火・お話を楽しむ会打合せ 《新規事業》 読書手帳の配布	12/木・おひざにだっこ 15/日・子ども司書講座① 17/火・長、東中配本図書交換	27/金・館内（環ボラ） 28/土・おはなしひろば	
6 月	5/日・子ども司書講座② 9/木・おひざにだっこ ＊図書館協議会	14/火・お話を楽しむ会打合せ 19/日・子ども司書講座③ ＊環境ボランティア花壇	24/金・館内（環ボラ） 25/土・おはなしひろば	教科書展示（学教） 6/17～7/3 まで
7 月		12/火・お話を楽しむ会打合せ 14/木・おひざにだっこ 15/金・中学校配本図書回収	21日頃・課題図書貸出開始 23/土・おはなしひろば 29/金・館内（環ボラ）	図書館日より
8 月	6/土・としょかんフェスタ ※中学生職場体験（3日間）			全日開館
9 月	6/金・中学校へ配本図書 8/木・おひざにだっこ	13/火・お話を楽しむ会打合せ	24/土・おはなしひろば 30/金・館内（環ボラ）	
10月		13/木・おひざにだっこ 16/日・子ども司書講座④ 18/火・お話を楽しむ会打合せ	22/土・おはなしひろば 28/金・館内（環ボラ） 30/日・子ども司書講座⑤	《新規事業》 小学校への配本図書
11月	8/火・お話を楽しむ会打合せ 8/火・長、東中配本図書交換 10/木・おひざにだっこ		25/金・館内（環ボラ） 26/土・おはなしひろば	
12月	4/日・本のリサイクル市 （児童書も含む） 8/木・おひざにだっこ	13/火・お話を楽しむ会打合せ 16/金・中学校配本図書回収 《新規事業》本の福袋	22/木・館内（環ボラ） 24/土・おはなしひろば 29/木～1.3/火 年末年始休館	
1 月	～3/土・年始休館 6/金・中学校へ配本図書	12/木・おひざにだっこ 17/火・お話を楽しむ会打合せ ＊ボランティア研修会	27/金・館内（環ボラ） 28/土・おはなしひろば ＊学校図書館担当者連絡会議	図書館日より 《新規事業》 小学校への配本図書
2 月	9/木・おひざにだっこ	14/火・お話を楽しむ会打合せ 17/金・長、東中配本図書交換 18/土・おはなしひろば	20/月～ 蔵書点検 24/金・館内（環ボラ）	
3 月	～1/水 蔵書点検 9/木・おひざにだっこ	14/火・お話を楽しむ会打合せ 17/金・中学校配本図書回収	25/土・おはなしひろば 31/金・館内（環ボラ）	
備 考	※印は、実施日等は未定の行事 ◎空調設備の更新工事に関わる休館や行事変更の予定 ◎中学校用図書配本事業の充実 ◎各公民館図書館分室の地域に根ざした運営 ◎ブックスタート事業や子ども向け行事開催のため、子ども支援課、福祉課、健康推進課との連携 《新規事業》 ●「読書手帳」の配布 ●「本の福袋」実施 ●小学校図書配本事業の開始			